

平成 30 年度 体協ニュース

| | |
|-----|--|
| No. | 30-⑤ |
| 行事名 | 青少年スポーツ指導者講習会 第1講座 『子どもの豊かなスポーツ生活の創造を目指して』 ～地域スポーツ再考～ |
| 講師 | 浪越 一喜氏 帝京大学教育学部初等教育学科教授 |
| 会場 | 板橋区立文化会館 4階大会議室 |
| 日時 | 平成30年6月8日(金) 午後6時30分～ |
| 主催 | 板橋区 運営：公益財団法人 板橋区体育協会 |



《浪越 一喜講師プロフィール》

1962 年生まれ

1988 年 筑波大学大学院修士課程修了 体育学修士

1990 年 帝京大学法学部法律学科講師

2005 年 帝京大学文学部教育学科講師

2009 年 帝京大学文学部教育学科准教授

2015 年 帝京大学教育学部初等教育学科教授

日本体育・スポーツ経営学会、日本体育学会、

日本教育経営学会等に所属

備考：千葉県スポーツ推進審議会委員(副会長)、元八王子市スポーツ推進審議会委員(会長)、
帝京大学男子バレーボール部監督(平成28年5月まで)、部長、帝京大学ラグビー部部長

平成30年度「青少年スポーツ指導者講習会」の第1講座は、『子どもの豊かなスポーツ生活の創造を目指して』～地域スポーツ再考～というテーマで浪越 一喜氏を講師にお迎えし、平日の夜ではありましたが約130名の方が参加し、開講されました。

生涯スポーツとは、『すべての人々が各自の健康・体力や運動能力の状況、興味・関心、目標、ライフスタイルなどに応じて、自主的、自発的に文化としてのスポーツ活動を生涯にわたって学習し、生活の中に取り入れて継続していくこと』であり、『スポーツは世界共通の人類の文化であり、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことはすべての人々の権利である』というスポーツ基本法についての説明がありました。

幼児期から多様な動きが経験出来るように様々な遊びを取り入れたり、楽しく体を動かす時間を確保し発達の特性に応じた遊びを提供したりすることで、体力・運動能力の基礎を培うとともに、様々な活動への意欲や社会性・創造性等を育むことが出来ます。そして、幼児期の豊かな運動生活(遊び)があつてこそ、小学生・中学生・高校生のスポーツ(運動)生活へと繋がっていきます。中学生や高校生になると部活動が始まり、指導者の確保や資質向上、そして多様化している生徒のニーズ(競技力向上、友だちと楽しめる、適度な頻度で行える等)に応じた活動が出来る運動部の設置等が求められて来ています。また、地域において多様なスポーツニーズに対応出来る地域スポーツクラブの育成が課題となっています。スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブ・中学校運動部活動の三者がそれぞれの強みを生かして連携・協働を図っていくことで、子どもの目的・志向・嗜好等に応じたスポーツ享受が可能となっていきます。

幼児期から始まり小学生・中学生・高校生へと成長していく中で、その時々に応じたスポーツニーズが満たされ活動の場が確保されるよう、学校の部活動や民間のスポーツクラブ等だけではなく、地域として子どもの豊かなスポーツ生活の一助が出来ることを学びました。

(浅賀 公子記)



青少年スポーツ指導者講習会
第1講座

「子どもの豊かな
スポーツ生活の
創造を目指して」
～地域スポーツ再考～



講習会に参加された大勢の方々
皆さん、講師の話を熱心に聞いておられました。



熱心に講義をされる浪越講師